



あまやさい

尼崎
育ち

農業公園再整備 ワークショップ^o

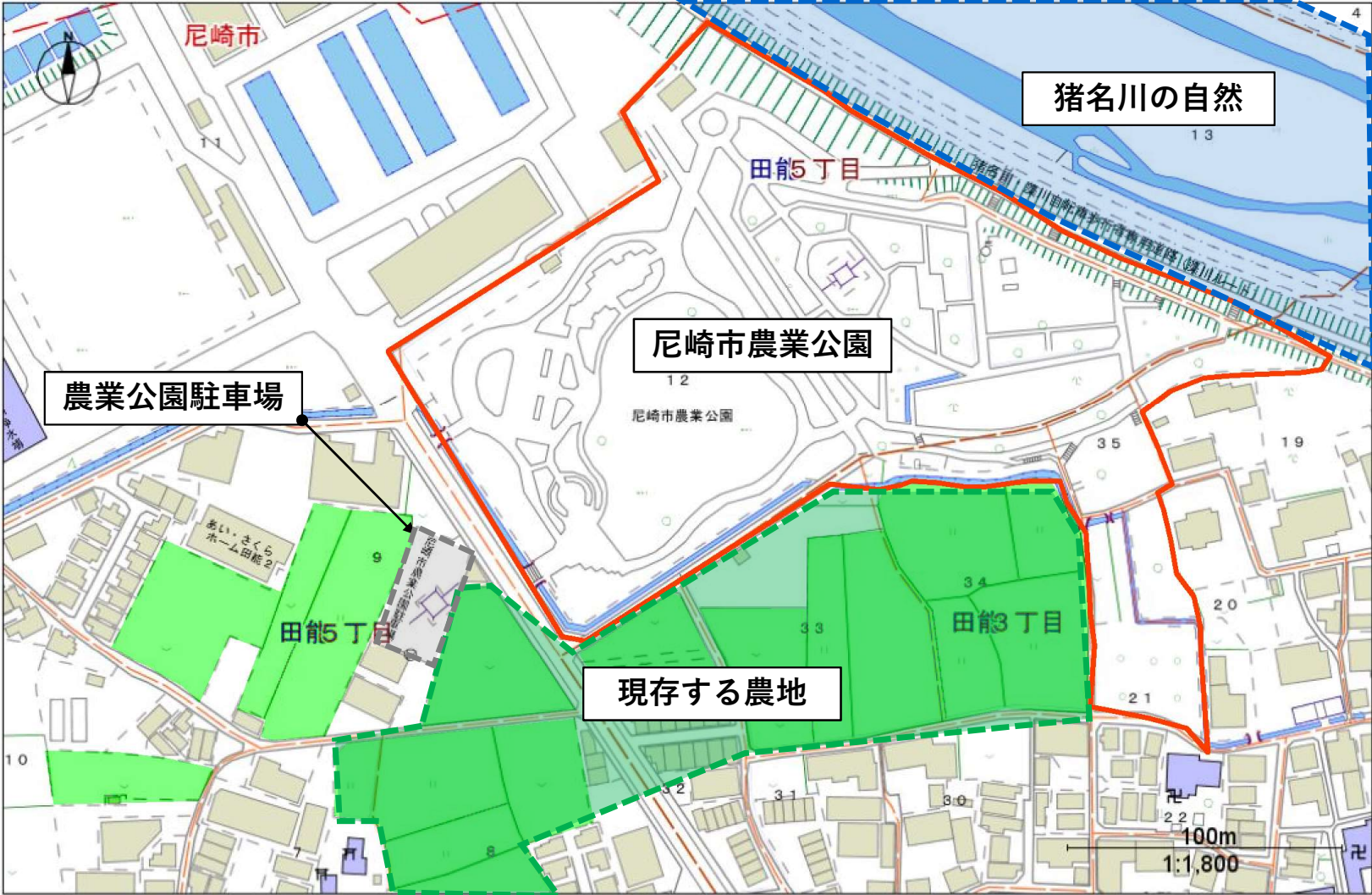
～農業公園でこんなことがしたい！～

尼崎市経済環境局経済部農政課

農業公園とは



農業公園の周辺環境



農業公園とは



開園：S58年

面積：約3.7 ha

当初の目的：農地保全、農業振興、転作など

年間来園者数：約10万人

現在の農業公園



現在の農業公園



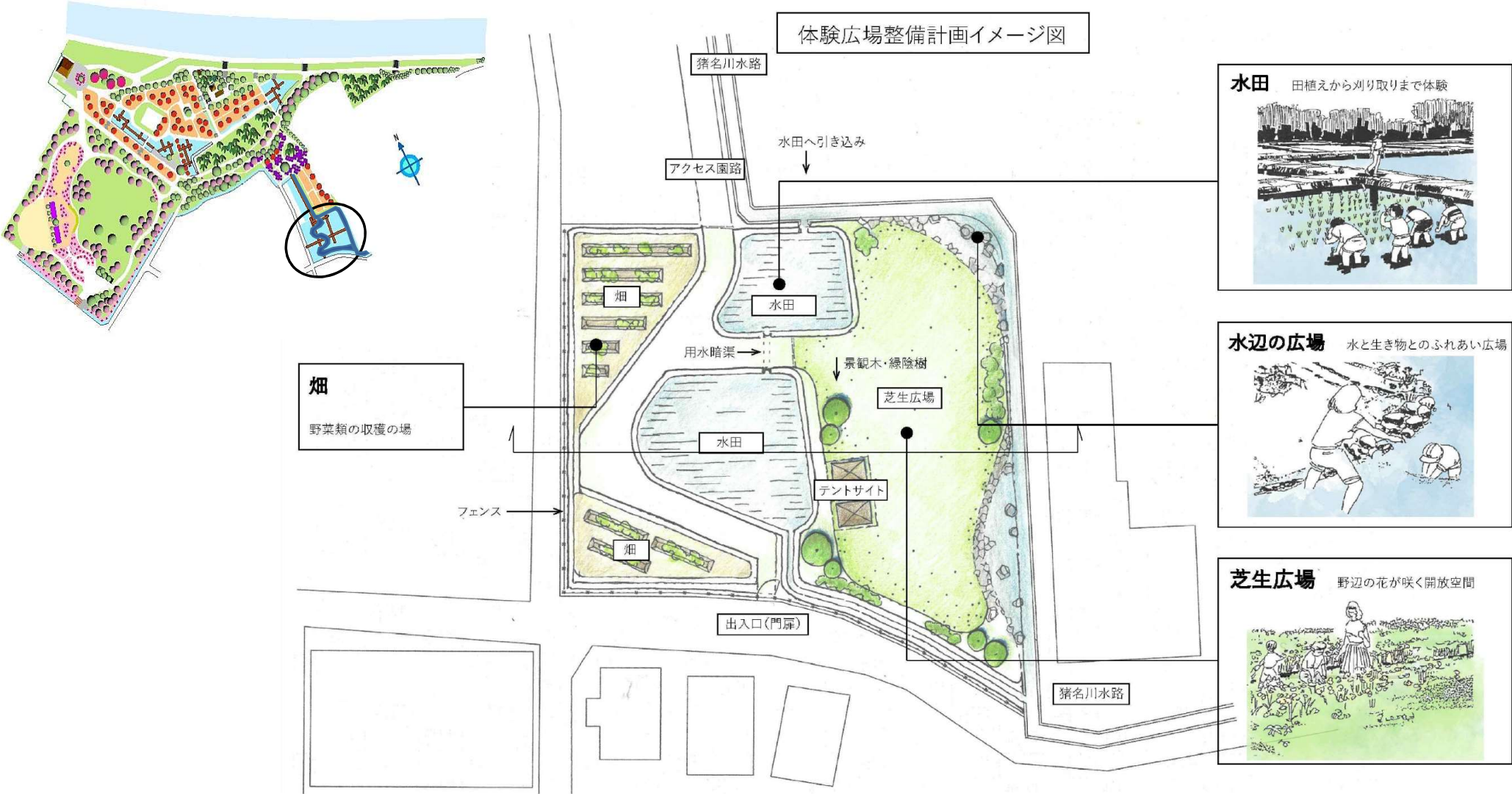
農業公園の課題

- ①施設（管理棟・トイレ）の老朽化
- ②植栽の生育不良（草木の老化、生育環境の不適）
- ③駐車場の不足
- ④来園者層の偏り（高齢者が多く、子ども・若年層が少ない）
- ⑤農業振興の更なる取組の必要性
- ⑥農業体験・環境学習の充実化
- ⑦バラ園の移設

尼崎市農業公園魅力向上計画に基づく再整備案（ゾーニング図）



尼崎市農業公園魅力向上計画に基づく再整備案（親水空間）



尼崎市農業公園魅力向上計画に基づく再整備案（駐車場）



農業公園の今後のあり方

● 農業公園の魅力向上による賑わいの創出

- ① 老朽化施設の更新などによる安全性・利便性の確保
- ② 目的に応じたゾーニング（用途の設定・明確化）の実施
 - ・ 四季折々の花が楽しめるコンセプトの維持（植栽の整理）
 - ・ 「あまやさい」を通じた農業振興の拠点 【新】
 - ・ 「農業体験」や「環境学習」ができる施設 【新】
- ③ ファミリー世帯を含めた幅広い年齢層に来園してもらえる取り組みの実施

「農業公園でこんなことがしたい！」について考えてみよう！

- 農業公園の魅力向上に向けて市では様々な検討をしてきました。
次は、利用者や近隣にお住まいの方々の生の声を聴かせてください！

ただし・・・

- ① 尼崎市農業公園魅力向上計画を、前提とします。
- ② 残念ながら、市の予算に限りがあります。
予算の範囲で、出来るだけお金をかけずに実行できるアイデアが欲しいです。
- ③ 自分自身（子どもや孫等の身近な人）が利用・活用するとしたら、という視点で考えてください。